

ミノサイクリン塩酸塩 50mg カプセル

溶出性〈6.10〉 本品1個をとり、試験液に水 900mLを用い、パドル法（ただし、シンカーを用いる）により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後、溶出液 20 mL以上をとり、孔径 $0.45\mu\text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mLを除き、次のろ液 10mLを正確に量り、水を加えて正確に 25mLとし、試料溶液とする。別にミノサイクリン塩酸塩標準品約 22mg（力価）に対応する量を精密に量り、水に溶かし、正確に 100mLとする。この液 5mLを正確に量り、水を加えて正確に 50mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、波長 348nmにおける吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 70%以上のときは適合とする。

ミノサイクリン ($\text{C}_{23}\text{H}_{27}\text{N}_3\text{O}_7$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times (A_T / A_S) \times (1 / C) \times 225$$

W_S : ミノサイクリン塩酸塩標準品の秤取量 [mg (力価)]

C : 1 カプセル中のミノサイクリン ($\text{C}_{23}\text{H}_{27}\text{N}_3\text{O}_7$) の表示量 [mg (力価)]

ミノサイクリン塩酸塩標準品 ミノサイクリン塩酸塩（日局）。

ミノサイクリン塩酸塩 100mg カプセル

溶出性〈6.10〉 本品1個をとり、試験液に水 900mLを用い、パドル法（ただし、シンカーを用いる）により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 30 分後、溶出液 20 mL以上をとり、孔径 $0.45\mu\text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mLを除き、次のろ液 5mLを正確に量り、水を加えて正確に 25mLとし、試料溶液とする。別にミノサイクリン塩酸塩標準品約 22mg（力価）に対応する量を精密に量り、水に溶かし、正確に 100mLとする。この液 5mLを正確に量り、水を加えて正確に 50mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、波長 348nmにおける吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 30 分間の溶出率が 70%以上のときは適合とする。

ミノサイクリン ($\text{C}_{23}\text{H}_{27}\text{N}_3\text{O}_7$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times (A_T / A_S) \times (1 / C) \times 450$$

W_S : ミノサイクリン塩酸塩標準品の秤取量 [mg (力価)]

C : 1 カプセル中のミノサイクリン ($\text{C}_{23}\text{H}_{27}\text{N}_3\text{O}_7$) の表示量 [mg (力価)]

ミノサイクリン塩酸塩標準品 ミノサイクリン塩酸塩（日局）。